

宇治市の宣伝大使(ゆるキャラ) デザインを募集中

☎ 広報課・
「宣伝大使(ゆるキャラ)制作
委員会」(☎21-77
50)

皆さんに親しまれる宇治市のゆるキャラのデザインを募集しています。広報課・公民館にある他、「宣伝大使(ゆるキャラ)」制作委員会ホームページ([HP http://www.uji-charanet.jp](http://www.uji-charanet.jp))に掲載している「募集要項」を確認の上、ご応募ください。

◆募集内容…自作・未発表作品で、宇治市を広くPRできるもの、郷土愛や宇治の歴史を感じさせるもの
◎賞…◎最優秀賞≡1点
◎優秀賞≡2点
◆応募方法…必要事項を記載した応募用紙に作品を添え、3月10日(日)(消印

有効)までに、郵送・Eメールか直接、同委員会(〒611・0021宇治妙楽180・30シヨウコウビル20B号、☒info@uji-charanet.jp)へ。
◎手書きの場合≡A4サ

イズの用紙
◎デジタルデータの場合≡JPG、GIF、PNG形式(2メガバイト以内)
※応募作品は返却しません。
※採用作品に関する一切の権利は、宇治市に帰属します。

宇治市市政だより 2013年3月1日号

寄付して以来、毎年浄財を寄付。この間の累計は900万円を突破している。

日用品・贈答品など会員からの提供品や趣旨に賛同した市民から寄せられた物品を安価で販売。

カレー、焼きそばなど模擬店も開設し、催しを盛り上げたほか、

山城福祉会と協力して志津川福祉の園の利用者が開釋太鼓に出演。「菓子工房うじがわ」が手作りクッキーを販売。約35万円の売り上げがあった。

【岡本幸一】

春の生き物や草花に出会おう

宇治ライオンズクラブ

巨椋池ウォーキングツアー

宇治ライオンズクラブ(植村敏彦会長、会員46人)が結成50周年を記念した「巨椋池横断ウォーキングツアー」が28日に開かれた。ライオンズクラブのほか宇治市、京都文教大学、結いの田うじ、宇治大好きネットなど12団体で構成した結プロジェクト事業の第一弾。先着50人で参加

者を募ったところ、約70人が参加した。西宇治体育館を出発

した一行はゴールの巨椋池排水機場まで8キロを元気にウォーキング



洛南タイムス 2013年5月1日

道中は春の草花や干拓田に生息する野鳥、虫などを巨椋案内人俱樂部の面々のガイドで散策。久御山町東一口の大池神社、山田家長屋門などを訪ねながらゴールの排水機場へ向かった。

チラシを見て参加したという宇治市寺山台の東條篤至さん(36)、知子さん(35)夫婦は

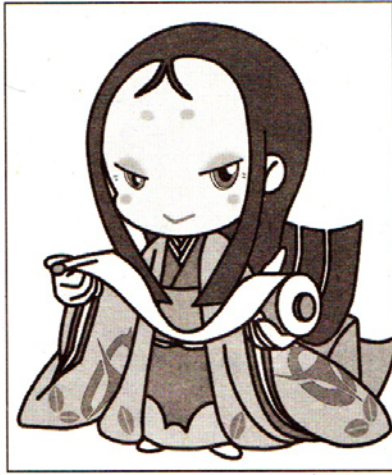
7歳と4歳の子どもを連れて参加した。二人は「普段は車で通るだけなので、ゆっくり歩いてみると発見の連続。一口(いもあらい)の地名の由来や昭和28年の水害で家の2階の高さまで水が浸かったという話を聞いて、とてもよい勉強になり参加してよかった」と話す。

西小倉小の清水理加さん(6年)、福島淑乃さん(6年)、清水友理さん(5年)の仲良し3人組は「草花や虫、鳥の名前を教えてもらった」とにっこり。

ガイド役を務めた東京農大3回生の中島一豪(かずひで)さん(20)は「事前に来た時は余り虫もいなかったが、きょうはアオスジアゲハや触角の長い蛾も見つかりました」。帝塚山中の綾本碧尉君は「コサギやイソシギ、アカサギなどを見つけた」と笑顔で話してくれた。

【岡本幸一】

【写真は久御山町東一口を訪問したウォーキングの一行】

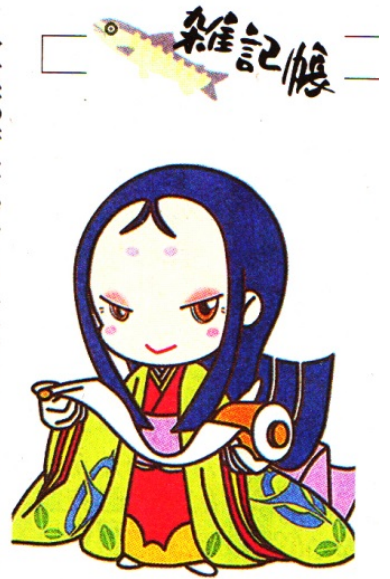


全国各地からの応募
総数1152点から、
宇治市宣伝大使(ゆ
るキャラ)が決まった

宇治市宣伝大使が決定 紫式部モチーフの作品

長岡京の
女子大生 着物に市章、茶の葉

【写真】
最優秀賞は長岡京市在住の精華大学マンガ学部2年生・辻森由香理さん(19)の作品。源氏物語の作者とされる紫式部をモチーフにしたもので、着用する十二単には「宇治市章」「宇治茶の葉」が描かれた。
市が宇治ライオンズクラブ(LC)と共同制作するために図柄を公



◇京都府宇治市の公募キャラクターを巡り、同市や宇治ライオンズクラブなどでつくる制作委員会は、最優秀賞に決定したデザイン

ンイラスト・宇治市提供を修正した。
◇紫式部をモチーフにした作品で、1152点の中から選ばれた。4月9日に公表されたが、市によると「手にしている巻物が裏向きで、おかしい」という指摘が複数寄せられ、キャラクターの巻物の向きを修正した。
◇愛称を5月中に決める予定の市広報課は確認の甘さを認めたらうえ、「関心を持ってもらえることは、ありがたい」とゆるキャラ効果にんまり。

【山田英之】

2013年5月9日 毎日新聞

募。今年2月10日から1カ月の間に、6歳から79歳までが応募してきた。1152点中、府内在住は609点うち市内502点。半分以上を姫キャラクターが占めたほか、茶関係も目立ったという。

選り。今年2月10日から1カ月の間に、6歳から79歳までが応募してきた。1152点中、府内在住は609点うち市内502点。半分以上を姫キャラクターが占めたほか、茶関係も目立ったという。

今月末まで愛称募集

同制作委はきょう10日から30日まで、ゆるキャラの愛称を募集する。採用された場合、市営観光施設の入場券をプレゼント。応募に関する詳細問い合わせは市広報課(20・8704)まで。来月下旬に決定し、6月に発表予定。夏には着ぐるみも制作する。
市内では既に宇治商工会議所が公募して制作した「チャチャ王国のおうじちゃん」が活躍中。人気を得た「ゆるキャラ」がもたらす経済効果は計り知れないだけに、共存共栄で市の観光を盛り立てたい。

の事務局(宇治LC)を中心に5人が予備選考を実施し、最終選考に残す25点を決定。東京都アニメーション、京都文教大学講師などで構成する選考委員会委員長(佐原勲)が25点の作品をチェックし、オスズの3〜5点

秀賞に注目してもらったため、優秀賞以下の作品は公表しない方針。3人には賞金とコシヒカリが贈呈される。



発行所 洛南タイムス社
 〒507-4132 宇治市宇治一丁目26番地
 TEL (0774) 22-4109
 FAX (0774) 20-1417
 http://www.rakutai.jp
 E-mail info@rakutai.jp

めくもりと感動と信頼を
 学校法人 京都黎明学院
京都芸術高等専門学校
 校長 藤達 一二
 宇治市五ヶ庄西浦6-1-2
 ☎0774-132170112



応募265点から愛称決定 宇治市 宣伝大使・ゆるキャラ

宇治市宣伝大使(ゆるキャラ)の愛称が「ちはや姫(ひめ)」に決まった。30日、市と宇治ライオンズクラブが発表した。市民の応募作品の中から選り、宇治の枕詞(まくらことば)の「ちはやぶる」にちなんでいる。8月ごろに着ぐるみが完成する予定で、宇治のPRに期待がかかる。

枕詞にちなむ

愛称は4月9日にデザインを発表後、同30日まで募集。市内在住・在勤・在学の人を対象に呼びかけたところ、265点の応募があった。

市職員と宇治ライオンズクラブのメンバーで構成する選考委員会(委員長 山本晃治市長公室次長)の7人が推薦作品計27点を持ち寄った後、11点を残して最終選考を行った。

最優秀賞に輝いた「ちはや姫」は、宇治市宇治の理学療法士、鈴木隆志さん(35)の作品。和歌で「宇治」の言葉に習慣的につけられる枕詞の「ちはやぶる」にちなんだ。意味は「勢いのあるさ

ま」で、「勢いの激しい宇治川の流れるように、宇治市の発展にますます勢いをつけた」という願いが込められているという。

選考委員会は「「ちはや姫」と呼ぶと、宇治を舞台とした古典の世界や、いにしへの宇治川の激しい流れなどが次々と想起され、市の宣伝大使にふさわしい愛称」と講評した。

作者の鈴木さんは「作品を選んでいただき、信じられないという思いと、感謝の気持ちでいっぱい。いつまでも多くの方々に親しまれ、愛されるキャラクターになるよう願っている」とコメントを寄せた。

宣伝大使の制作は宇治ライオンズクラブの

結成50周年事業の一環で、キャラは市のPRなどに活用する。愛称と同様、イラストも応募総数1152点から、大学生の辻森由香理さん(長岡京市)が描いた、紫式部をモチーフにした作品が選ばれた。すでに市長の記者会見のバックボードや市民総体の印刷物などで使用されている。今後は8月ごろに着ぐるみが出来上がり、イベントなどに登場する。

また市内では、宇治商工会議所など公認のゆるキャラ「チャチャ王国のおつじちゃま」がすでに人気を集めており、「ちはや姫」とは連携して宇治をPRすることになっている。

【本好治央】
 館で開かれ、委員長に小永井征也氏、副委員長に久保宜子氏が再任された。
 この日は、山本正市長が委員19人に委嘱状を渡した。任期は2015年3月末まで。事務局の市から、今年度の事業計画や第2期特定健康診査等実施計画(13~17年度)などの説明もあった。
 来年度事業運営の議論は通例では年明けに行い、保険料などを検討する。

委員長に 小永井氏

宇治市国民健康保険運営協議会の今年度1回目(30日、うし安心

【本好治央】

宇治ライオンズクラブ結成50周年記念 結いのまちづくりプロジェクト事業



2013 6/16日 13:00~16:30 雨天決行

どろりんピック in うじ

どろんこの田んぼの中で
宝さがし
水鉄砲
リレーなんて!

- 集 合** 巨椋池千拓田の「どろりんピックinうじ会場」 12:45集合
- 対 象** 5才から小学校6年生までの子どもとその保護者 30組
- 持 ち 物** 暑習え、水中眼鏡、タオル、ぼうし、お茶、履りのどろり対策など
- 参加費** 無料(保険には加入しています)
- 申込方法** 往復はがき(締め切り6月1日)
- 内 容** どろんこ宝さがし/どろんこビーチャップス/どろんこ水鉄砲ゲーム
どろんこリレー/どろんこ綱引き/どろんこfrisbeeキャッチ

親子ペア 30組募集開始

宇治LC 結いのまち 来月16日「どろりんピック」

親子でどろんこになって遊ぼう

宇治ライオンズクラブ結成50周年記念「結いのまちづくりプロジェクト」のイベントの一つ「どろりんピックinうじ」が、6月16日(日)午後、宇治市伊勢田町の巨椋池千拓田会場で開催される。

「おととさん」と子どもが自由に遊ぶ会が企画。どろんこの田んぼの中で、宝探しやそりリレー、水鉄砲ゲーム、frisbeeキャッチ、ビーチフラックス、綱引きを、5歳から小学6年までの子供と保護者の親子ペアが楽しむ。

定員30組、参加無料。全競技に参加することが原則。着替え、ゴーグル、タオル、草履、飲み物、ナイロンシート、新聞紙など持参のこと。申し込みは、往復はがきで6月1日締め切り(消印有効)。往復はがきの表面に〒611-0021 宇治市宇治妙楽180-30、ショウウライオンズクラブ50周年事業「どろりんピックinうじ」係まで、裏面に保護者の氏名・年齢・子供の氏名・年齢・電話番号、同意事項に同意の旨を記すこと。返信ハ

ガキの表面に、参加者の住所、氏名も明記すること。返信ハガキが参加票となる。

時間は午後1時~4時30分(午後0時45分集合)。雨天決行。車で来場する場合、南都総合地方卸売市場内に駐車可能。ただし、会場まで徒歩15分。

同意事項などホームページ

ページhttp://www.50th.net/に詳細。問い合わせは結いのまちづくり実行委事務局 021-7750まで。

335-C地区

京都府・宇治ライオンズクラブ

親子で楽しむ「どろりんピックinうじ」



梅雨の合間の晴天となった6月16日、宇治ライオンズクラブ(佐原勤会長)は結成50周年記念事業「結いのまちづくりプロジェクト」の一環として「どろりんピックinうじ」を開催した。これは親子のどろんこ運動会で、巨椋池千拓田内にある佐原会長所有の田んぼを舞台に行ったもの。およそ100人の親子が参加し、どろんこになって「どろりんピック」は「どろんこ」と「オリンスピーキヤッチ」など親子で楽しむ内容が盛り込まれた。最後は男性保育士が悪役に衣装し、苦境

名だが、それぞれ主催者が特色を生かしながら行っている。今回は地域で「お父さんと子供が自由に遊ぶ会」代表の居原田晃司さんに指導してもらいながら計画、実施した。

当日は、埋められたお宝を探す「どろんこ宝探し」から始まり、親子バトルの「どろんこビーチフラックス」、子どもが乗ったそりを引っ張るチーム対決の「どろんこそりリレー」、踏ん張りたくても踏ん張れない「どろんこ綱引き」、親子で協力しながら水の勢いで的を倒す「どろんこ水鉄砲ゲーム」、網でうまくfrisbeeを取る「どろんこfrisbeeキャッチ」など親子で楽しむ内容が盛り込まれた。最後は男性保育士が悪役に衣装し、苦境

子どもと水鉄砲で水を掛け合うゲームで締めくくられた。場所柄日除けがない炎天下での開催となったが、参加者から「楽しかった」、「また来年もやりたい」とうれしい言葉が発せられ、スタッフ一同喜びもひとしおだった。親子の絆が薄れかけている現代社会だが、この日見た、親子が無心になって遊ぶ姿には感激した。

宇治ライオンズクラブでは他にもクラブ結成50周年記念事業として、親子と一緒に宇治市のゆるキャラ「ちはや姫」をかたどった田んぼアートを作成したり、その鑑賞会を行うなど、多彩な事業を展開していく予定だ。

(結成50周年実行委員長/信貴 芳造)

「ちはや姫」田植え祭に先がけ

宇治市立
北小倉小 5年生が田んぼアート参加



佐原さんの掛け声に乗って地元児童が苗を植えつける

宇治ライオンズクラブ
「結いのまちづくりプロジェクト」のイベント「田んぼアート」の田植え祭を目前に控えた宇治市伊勢田町の巨椋池干拓田会場で6日、宇治市立北小倉小学校(立野誠之校長)の5年生60人が田植え体験を行った。

「田んぼアート」は無農薬米づくりを通して交流する学生や主婦など市民らがサハラファーム(佐原勤代表)の協力の下立ち上げた「結いの田うじ」が実施主体。赤や紫など数種類の色をしたイネを使用し、これまでも紫式部(源氏物語千年紀・2008年)やまゆまる(京都国文祭・11年)を描いている。

今回、宇治LC50周年時会長となる佐原さんらをメンバーとする選考委員会が決定した宇治市宣伝大使(ゆるキャラ)「ちはや姫」をおよそ50区四方の田んぼに表現する。

田植え祭を前にこの連日、西小倉、南小倉小の5年生も田植え体験を済ませ、初参加となる同校が地元小学校のアンカーを務めた。佐原さんから先月末、事前講義を受けた児童たち。田んぼに入ると横一列に並び、ロープを頼りに腰をかかめて等間隔にしつかりと植えていった。

佐原さんの陽気な号令に児童たちも高揚した様子で、リズムよく植えつけを終えて隣りにある「どろりんピック」ステージに移ると、思い思いに動き、どろんこになって歓声を上げた。

参加無料。

受付は午前9時からで、田植えは午前9時30分～正午。雨天決行。タオル、帽子、軍手、長靴、着替え、飲み物を持参すること。南部総合地方卸売市場の駐車場を利用できる(会場まで徒歩15分)。問い合わせは実行委事務局TEL21-7750まで。

9日、一般市民らアート田植え

田んぼアート田植え祭に向けた準備も大詰め。9日(日)当日の参加



泥の中に隠されたゴルフボールを探す参加者
(宇治市伊勢田町)

山城



水田でゲーム滑って転んで

宇治で「どろりんピック」

水田の中でさまざまなゲームを楽しむ「どろりんピック in うじ」が16日、宇治市伊勢田町の巨椋池干拓田で開かれた。大勢の親子らが全身泥まみれになりながら、思い切り遊んだ。

宇治ライオンズクラブの結成50年記念行事の一環で、同市の父親の子育てグループ「おとうさんとこどもが自由に遊ぶ会」とともに企画。田植え前の水田30㍎を会場に、約100人が参加した。

田んぼの泥の中に埋まったゴルフボールを見つけ出す宝探しゲームをはじめ、旗を先に取り競走「ビーチフラッグス」や綱引きなど6種目を実施。子どもらは勢いよく滑り込んだり、転んだりして泥の感触を楽しんだ。

北小倉小1年の武岡澤さん(7)は「田んぼの泥は温かくて少し気持ち悪かったけど、楽しかった」と笑顔で話していた。

(柿木拓洋)

親子ら宝探しや綱引き

公認の泥んこ遊びに歓声

宇治ライオンズクラブ

干拓田で「どろりんピック」

◆…宇治市伊勢田町の巨椋池干拓田で16日、宇治ライオンズクラブ(植村敏彦会長)主催の「どろりんピックinうじ」が開かれ、田植え前の水田(30㍍)で参加した親子連れなど約100人が全身泥んこになりながらゲームや遊びに興じた。

◆…同クラブの結成50周年記念事業の一環で進めている結(ゆ)いのまちづくりプロジェクトの一つ。「おとこさんとこどもが自由に遊ぶ会」(居原田晃司会長)と共に企画した。

◆…集いでは、田んぼの中に埋めたゴルフボールを見つけた宝探し、旗を先に取るビーチフラッグス競走、どろこん水鉄砲ゲーム、フリスビーキャッチ、綱引きなど6種類の泥んこ競技を親子で満喫。全身泥だらけにながら、お母さん公認の泥んこ遊びに父と子が興じた。

◆…チラシを見て即申し込んだという大野悟さん(44)は西小倉小に通う娘の涼



(すず)さん(2年)と一緒に参加。昨年までは水中に顔をつけて泳ぐのも苦手だったという涼さんだが、何かと積極的なお父さんの遊び心に刺激されたのか、この日は用水路の側溝で泳ぐなど大はしゃぎ。

◆…たくましいわが子の育ちに、悟さんは「前から一度、田んぼの中で親子で遊びたかった。こんな機会はめったにない。よつやく念願がかないました」と破顔一笑。【岡本幸一】

【写真は水入りのペットボトルを倒す水鉄砲ゲームに興じる親子】

ちはや姫コンクール行きますか

宇治LC結成50周年

7日と8日に鑑賞会 結いのまちづくりプロジェクト

◆宇治ライオンズクラブ結成50周年を記念、結いのまちづくりプロジェクト事業「ちはや姫田んぼアート鑑賞会」が9月7日と8日の2日間

にわたって開かれる。受付は両日とも午前8時半から。現地に設置した高見や

ぐら(高さ約8m)に5人〜6人ずつに上がり、9時から正午頃まで鑑賞できる。事前申込みは不要。

◆結いの田んぼは、サハラファーム(佐原勤代表)の協力のもと、大学生や地域の主婦ら農業は専門外という人たちが巨

椋池干拓内にある、田んぼという場で一緒に無農薬栽培の稲作を営むプロジェクト。田んぼを拠点

にしながら農業、自然、環境、地域、世代間交流をキーワードにしたさまざまな企画を立て、まちと人を育むことを目指

している。

◆今年、さまざまな色、品種の稲を植え、宇治市の宣伝大使に決まったゆるキャラ「ちはや姫」

をデザインした。高見やぐらに上れば宣伝大使、ゆるキャラ「ちはやひめ」の姿と文字がくっきり。

◆今年10月26日(土)に稲刈り体験と収穫祭、12月14日(土)にしめ縄・わ

らじ作り、来年2月9日(日)に結いのまちコンサートを予定している。

◆現場は近鉄小倉駅から徒歩25分、向島駅から30分。8日は南部総合地方卸売市場の中信側から入った場所に駐車場の協力を受けており、午前11時45分までに到着した人は現地まで送迎するという。

【川田一公】

【写真は可憐な姿もくっきり、田んぼアートにはや姫】



ちはや姫 くつきり

宇治市伊勢田町の巨
椋池干拓田に、今年誕
生した同市の宣伝大使
「ちはや姫」の絵が梅
雨空の下、くつきりと
現れている。水田に色
が異なる稲を植えた
「田んぼアート」で、
複雑な衣装や目元も表
現されている。

宇治で「田んぼアート」

Cが共同制作したゆ
るキヤラのちはや姫を
縦、横50坪の田に描い
た。

田植えは6月上旬に
行われ、メンバーが緑
や紫、白色の稲の苗5
品種を5坪単位で調整
しながら植えた。穂が
発色する品種もあり、
秋にかけて化粧や着物
などが色付いていくと
いう。

9月7、8両日には
特設のやぐらから見
鑑賞会を開く予定。

(柿木拓洋)



水田に浮き上がった「ちはや姫」の田んぼアート
(宇治市伊勢田町・巨椋池干拓田)

2013-7-6

宇治ライオンズ「ちはや姫」出現

宇治ライオンズ「田んぼアート」

ユニークなかかしズラリ

宇治ライオンズクラブ(佐原勲会長)が結成50周年記念事業の一環で進めている「結い(ゆい)のまつり」プロジェクトの舞台となっている巨椋池干拓



高見やぐらから見た田んぼアートの「ちはや姫」の全景

4日には西小倉小体育館でかかしづくりを開催。親子・サークル仲間などグループが思い思いのかかし作りに興じた。



田んぼアートの会場にズラリ並んだかかし



ユニークなかかしづくりに励む参加者

た伊勢田サッカークラブの池田光敏君(2年)、谷田俊伸君(1年)はサッカークラブにちなんだボールを蹴るかかしやゴールキーパーのかかしに「人間らしく作るの難しいが、面白い」と

顔を最後に書くため、のっぺらぼうのかかしに「このままお化粧敷に飾る方が面白い」と話すグループもあり、体育館はにぎやかな声に包まれた。

普通の稲の葉は緑だが、田んぼアートに使用する色種には紫穂やユニアンビ、ベニアソビなど白、紅、紫の色「ちはや姫」を描く。

「ちはや姫」は高さ8尺の特設やぐらから斜めに見た時にくっきりとお姫様の顔が分るように遠近法で表現しており、稲穂が色づく収穫の秋が楽しみ。

9月7日、8日には特設やぐらから楽しむ「田んぼアート鑑賞会」を開催。10月26日には田んぼアート収穫祭を開くことになっている。

【岡本幸一】

京都コンピュータ学院 オープンキャンパス

9月21日(土) 10月19日(土) 11月17日(日)

【入試対策説明会付き】 【ハロウィンバージョン】 【ゲーム講演会開催】

単位
お問

トマト倶楽部	5ちゃん.net	マイベストロ	出版案内	福祉事業団	47NEWS	京都新聞AR
住まい	京都の病院	老舗案内	お取り寄せ	日本人の忘れもの	京都サンガ	
トップ	滋賀ニュース	地域ニュース	政治・社会	スポーツ	経済	教育・大学
						観光・社寺

「ちはや姫」お披露目 宇治、宣伝大使のゆるキャラ



お披露目会で集まった子どもたちと握手するちはや姫(宇治市宇治・宇治市役所)

京都府宇治市の宣伝大使のゆるキャラ「ちはや姫」の着ぐるみが完成し、20日、宇治市役所でお披露目会が開かれた。

ちはや姫は、市と宇治ライオンズクラブがデザインを公募し、全国から寄せられた1152作品から4月に選ばれた。源氏物語宇治十帖にちなみ、紫式部をイメージしている。名前は、「宇治」などの枕詞(ことば)で、勢いのある様子を表す「ちはやぶる」に由来し、市民公募で決まった。

完成した着ぐるみは、十二単(ひとえ)のような着物姿。宇治茶を連想させる緑色の上着を羽織っている。涼しげな目元が爽快感を感じさせ、丸顔が愛らしい印象を与える。

この日は、宇治商工会議所が昨年末に制作したゆるキャラ「チャチャ王国のおうじちゃま」も駆けつけた。お披露目会に参加した幼児たちは、宇治のPRを担う2人に「かわいい」と歓声を上げ握手。市民もカメラを向けていた。

京都新聞

京都新聞社
平成25年9月21日
21時10分 更新

天気予報

9/21 18時 21時		
京都	☀	☀
京都北部	☀	☀
京都南部	☀	☀
滋賀北部	☀	☀
滋賀南部	☀	☀

天気予報

京都大好き
トーク!

京都新聞
日経テレコン

宇治市宣伝大使

「ちはや姫」初披露

観光「おうじちゃま」とタッグ
振興

宇治市宣伝大使「ちはや姫」の着ぐるみが20日、初披露され、宇治商工会議所が中心に制作したご当地キャラ「チャチャ王国のおうじちゃま」と一緒に宇治を盛り上げることを誓い合った。

市役所1階市民交流ロビーで贈呈・受納式が開かれ、宇治ライオンズクラブの佐原勤会長が「私は自称・ちはや姫の父親。市に嫁入りする。少し寂しいが、19万市民の皆さん、どうぞかわいがってください」と挨拶。寄付を受けた山本正市長は「観光振興をはじめ、市のPRとなる情報発信などに活用させてもらう」とお礼を述べた。



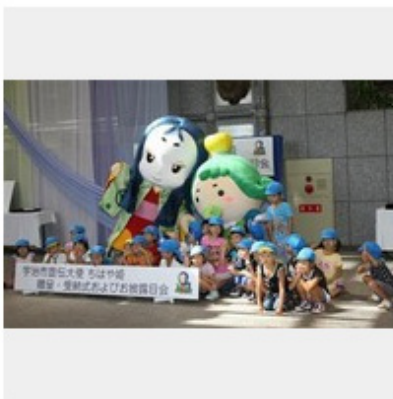
「2人」で「宇治を盛り上げよう」

宇治保育所の園児らが招かれ、初登場のちはや姫に「かわいい」と歓声を上げ、記念撮影会で大はしゃぎ。ゆるキャラによる観光振興は全国各地で成功を収めており、2体が手を取り合って、誘客に努める。

城南新報 2013年9月21日

「ちはや姫」着ぐるみ披露 来月14日には宇治のイベントに登場 京都

産経新聞 9月21日(土)7時55分配信



保育園児とともに、「チャチャ王国のおうじちゃま」と記念撮影する「ちはや姫」(左) =宇治市役所 (写真:産経新聞)

宇治市宣伝大使のゆるキャラ「ちはや姫」の着ぐるみが完成し20日、宇治市役所でお披露目された。今年3月に宇治商工会議所がつくったご当地キャラ「チャチャ王国のおうじちゃま」とともに宇治をPRする。

ちはや姫は紫式部をモチーフにしたお姫様。宇治の枕詞である「ちはやぶる」から名付けられ、着ぐるみは宇治ライオンズクラブが寄贈した。お披露目式には同クラブの佐原勤会長や山本正市長らが出席。ちはや姫はチャチャ王国のおうじちゃまとともに、宇治保育所の園児らと記念撮影した。

宇治市の府立山城総合運動公園では10月14日、「おうじちゃまつり」が初開催される。山城地域を中心に府内外のゆるキャラ14体が集まる予定で、ちはや姫もさっそく参加して写真撮影などに応じる予定だ。(飯塚隆志)

「ちはや姫」の登場に歓声

北小倉小 田んぼアートのお礼で登場

宇治市立北小倉小学校（小倉町堀池）立野誠之校長に25日、宇治市宣伝大使の「ちはや姫」が姿を見せ、児童たちに愛嬌をふりまいた。

ゆるキャラの「ちはや姫」は、宇治ライオンズクラブ（佐原勲会長）の結成50周年事業の一環で広く公募。全国の各地から1152点のデザイン応募があり、紫式部をモチーフにした京都精華大学の学生作品が選ばれた。愛称は古くから宇治川の言葉に習慣的につけられる枕詞の「ちはやぶる」にちなんで「ちはや姫」に決定。6月の田んぼアートには同校の5年生63人も協力



「ちはや姫」と記念撮影に収まる児童たち（北小倉小）

した経緯があり、佐原会長が田んぼアートの現況を紹介するのに対応して、着ぐるみの完成にちなんで初めて児童たちの前にお披露目することにした。田んぼアートに、田んぼに「ちはや姫」がくつきりと輪郭を現す様子やスライドで児童に紹介した佐原さんは、10月26日（土）に予定する田んぼアート収穫祭への参加もPR。雅楽の旋律に合わせて体育館に姿を見せた「ちはや姫」に児童たちは大喜びで歓迎。グループごとに「ちはや姫」と記念撮影し、「田んぼアート」を通して「縁をかみ締めていた。」

【岡本幸一】

元気な出演団体を募集

宇治ライオンズクラブ 来年2月 結いのまちコンサート

◆宇治ライオンズクラブ（佐原勲会長）では結成50周年事業の一環で来年2月9日（日）午後1時から宇治市文化センター大ホールで開く「結いのまちコンサート」の出演団体を募集している。

◆宇治ライオンズクラブは「東京オリエンティック」のあった1964年に設立。「We Serve」(われわれは奉仕する)を合言葉に地域の青少年育成や社会福祉など幅広い分野で様々な奉仕活動を社会貢献活動を展開してきた。

◆記念事業は▽宇治市「宣伝大使（ゆるキャラ）」デザインコンテストの最終ロケットの最後のイベントとして来年2月に開く。

◆コンサートはUJI PROJECT（若林哲代表）が事業実施団体となって開催。地元で音楽活動している個人、サークル、団体を募り、音楽を通して世代間交流や地域コミュニケーションの一助になる、市民と共に創りあげるコンサートをめざしている。

◆出演時間は準備、片付けを含め15分程度。大会や多くの一般の人に対して演奏・出演の実績のある個人・団体を希望。コンサートの最後に震災復興支援ソング「花は咲く」の演奏を出演者全員で行なう予定をしている。応募多数の場合は選考会で決定する。

◆募集期間は9月20日まで。申し込みは宇治ライオンズクラブ事務局（FAX 21-7752）、eメール Eiji@ora.or.jp 【岡本幸一】

伝統手作業で正月迎える

宇治LC「しめ縄づくり」に親子連れ

50周年事業 宇治ライオンズクラブ 周年結いのまちづくり（佐原勲会長）結成50周年プロジェクト事業の一環となるしめ縄づくりが14日、宇治市立南小倉小学校で開かれ、家族連れなど約80人が伝統色豊かな手作業に目を輝かせた。



親子連れが正月を飾るしめ縄づくりに励む

同クラブでは、巨椋池干拓田を舞台に無農薬米生産を通して地域コミュニケーションを進める「結いの田うじ」が中心になって、田んぼアート、どろりんびっく、収穫祭など、50周年記念を冠して賑々しく展開してきた。

刈り取った藁（わら）を材料にしたしめ縄づくりには、定員50人で

事前募集。それを超える参加者が近隣地域から集まった。

この日に向けてスタッフ数人が作り方を特訓した。ワラ5本を二つの束にし、束を編んで縄にし、それをもうひとつ束と絡め合わせてしっかりとしたしめ縄の完成。見よう見まねで始めた参加者は、付

き添うスタッフのアドバイスを受けて、オリジナルの正月飾りを立派な姿にしていた。

宇治LC50周年 音楽で祝う



9団体、多彩な演奏

宇治ライオンスクラ
ブ(LC)の50周年記
念事業を締めくくる
「結いのまちコンサ
ト」が9日、宇治市折
居台の市文化センター
で開かれた。多様な楽
器演奏が披露され、大

勢の市民が楽しんだ。
宇治LCが発足50年
を記念し、青少年育成
や地域活性化を主眼に
昨年から取り組んでい
るイベントの一環。地
元で活動する和太鼓グ
ループやフォークデュ
オ、プラスバンドなど
9団体が出演した。
大分県の音楽グルー
プ「カテリーナ古楽器
アンサンブル」は、バ

イオリンやオーボエの
原型となる自作の管弦
楽器を用い、素朴な音
色で旋律を奏でた。立
命館宇治中・高のバト
ントワリング部や宇治
中、宇治黄檗学園の吹
奏楽部も登場し、会場
を盛り上げていた。

(柿木拓洋)

“結いのこころ”歌声に

宇治ライオンズクラブ50周年事業ファイナーレ

宇治ライオンズクラブ(佐原勤会長)は9日、宇治市文化セン



佐原勤会長がタクトを振り出演者と客席一体で声を合わせる

のまちコンサートを開き、結成50周年を記念して春先から繰り広げてきた一連イベントのファイナーレを飾った。

「結いのまちづくりプロジェクト」と名付けた事業は、小中一貫校黄檗学園への楽器寄贈に始まり、宇治市宣伝大使「ちはや姫」として活躍するゆるキャラの募集、巨椋池干拓田を舞台にした田んぼアート、どろりんピック、収穫祭など。

コンサートは、UJII 結音PROJECT(若林哲代表)を中心に企画、運営。9組がステージに上がって、イキイキ

とした演奏、演技で、客席との一体感を生み出した。

会場は午前10時から市茶生産組合のお茶席が開かれ、同クラブの歩みを写し出したパネルを展示。午後1時30分の開演を迎えると、



楽器寄贈を受けた宇治黄檗学園のステージ

スタッフが撮影・編集してきた行事のダイジェストがステージ横のスクリーンで上映され、同クラブが誕生させた市宣伝大使「ちはや姫」の田んぼアートが浮かび上がり、すかさず佐原会長とちはや姫が壇

上に現れて「一緒に楽しもう」とメッセージを発信した。

「北斗太鼓」がオープニングを飾り、ハーモニカ、声楽、フォーク、古楽器アンサンブルと続き、全国コンテストで活躍する立命館宇治中・高バントワリング部、宇治中吹奏楽部、宇治黄檗学園吹奏楽部が堂々の演奏を披露し、ママさんブラスUjii がトリを務めた。

ファイナーレは出演者たちがステージと客席の間に並んで「花は咲く」を合唱。最後の最後に、事前練習をした佐原会長がタクトを振った「勇気100%」で全員が声を合わせ華やかなステージを締めくくった。

心に響く吹奏楽演奏も

宇治ライオンズクラブ



佐原会長の指揮で演奏した宇治中学校吹奏楽部

結成50周年の節目なごやかに

「結いのまちづくり」締めくくりに式典

青少年育成を重点に活動、結成から50周年の節目を迎えた国際的な奉仕団体、宇治ライオンズクラブ（佐原勲会長）の記念式典と祝賀会が15日、京都市下京区、リーガロイヤルホテルで開かれた。宇治市の宣伝大使（ゆるキャラ）「ちはや姫」公募と着ぐるみ贈呈、地域と人をつなぐ「結いのまちプロジェクト」など多彩な記念事業を進めてきたが、記念式典でも結いのコンサートに出演した宇治中学校吹奏楽部が日本一の演奏を披露。佐原会長が最後はタクトをとるなど、宇治ライオンズクラブの50周年という歴史を飾るにふさわしい演出で会場を魅了した。

東海道新幹線が開通し、秋には東京オリンピックが開かれた1964年（昭和39年）3月、京都平安ライオンズクラブをスポンサークラブに宇治ライオンズクラブが誕生。多くの甲子園球児を庄む機会にもなった宇治LC旗争奪学童軟式野球大会（財）宇治青少年育英会を創設して奨学生に資金援助を続けるなど青少年健全育成を

活動の柱に据えながら地域に奉仕活動。50年の歴史を刻んできた。記念事業として取り組んだのは、小中一貫校・宇治黄葉学園への楽器贈呈に始まり、50周年記念ゴルフ大会、アイバンク愛の光基金管理会寄贈、宇治市宣伝大使（ゆるキャラ）「ちはや姫」のデザイン公募と着ぐるみ贈呈、「結いのまちづくりプロジェクト」として企

画した巨椋池ウォーキングツアー、古代米を使ってちはや姫を描いた田んぼアート「田植祭」、親子の歓声が広がった「どろりんピクニック」。「かかしづくり」「田んぼアート収穫祭」などを実施。2月9日には結いのまちコンサートを開いた。式典には、この日が



さまざまな団体への記念事業目録贈呈

「新時代への挑戦―未来に向けて」という言葉掲げながら地域に根差した活動を展開することを誓い、支援を呼びかけた。山田知事、山本市長も目ざろの地域に根差した奉仕活動に感謝しながらお祝い。「さらに地域の団結力を強め、100周年をめざして、宇治のために」と、期待を込めた。青少年健全育成を重点に、地域に根差した奉仕団体の50周年にふさわしい演出となったのは、全日本マーチン

グコンテストで2年連続金賞を受賞した宇治中学校吹奏楽部の演奏のひと時。「演歌メドレー」などを取り入れるなど、選曲にも配慮して熱演。フィナーレには佐原会長が呼ばれ指揮者となって「勇気100%」を演奏し、参加者たちも感動。大きな拍手に包まれた。

【川田一公】